

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

殻を破る

1. 地方案件での話

今期もさまざまな地域課題に向かい合う機会がありました

- ・この町では「出る杭は打たれる」。すべきことは明白だが、その矢面に立つことは本意ではない。
- ・移住希望者がいるものの、空き家の所有者が家を手放さず、こんな田舎なのに住む場所がない。
- ・廃業すると地域の産業を担う事業者がいなくなってしまう。
→そこを「そうですよね」と受け止め、「自分たちには関係ない」と距離を置くか。それとも、「何ができるか？」と考え、行動するか。こうした生の声に大小さまざまな事業の種が隠れていると感じています。

2. 自分たちのリソースだけで解決できないことの方が多い

人をつなげる、企業をつなげることに挑戦したものの

- ・ソリューションを持つ企業を紹介 → 遠隔地は非効率的なのでちょっと・・・
- ・企業は前向きな協力姿勢の一方で → 新しい取り組みは周囲の反発があるので・・・
- ・需要と供給が繋がったものの → 紹介しただけで終わってしまった・・・
→課題を保有する側、解決手段を保有する側、それらをつなげる側、全体が幸せになるような一枚絵を描くことは非常に挑戦しがいのあるテーマ。思うように進まないことが多いですが、その分、その先にある社会的なインパクト（やりがいも含め）は大きいと思います。

3. 今後へ向けて

- ・私たちが挑戦・成長・進化を続ける → 一歩先を進み、共創相手としての魅力を高める
- ・外に出て多くの人や企業と会う → 目の前の相手のために何ができるかを考え行動する
- ・変化を楽しむ → MC には共感できる仲間が集まっている